

ごのへ 議会だより

Gonoh Assembly News

議会広報
平成29年4月
第23号

第12回定例会(平成29年3月定例会)

平成29年度当初予算 …… 2	予算特別委員会 …… 4	第10・11回臨時会 …… 7
第12回定例会 …… 8	一般質問(6人) …… 10	編集後記 …… 16

五戸高校の存続 県に要望



青森県庁副知事室にて

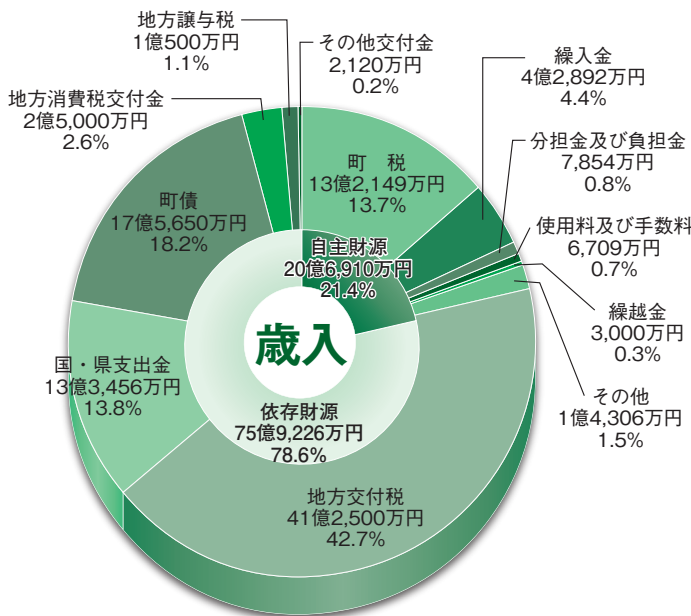
平成29年度当初予算を可決

< 財源構成 >

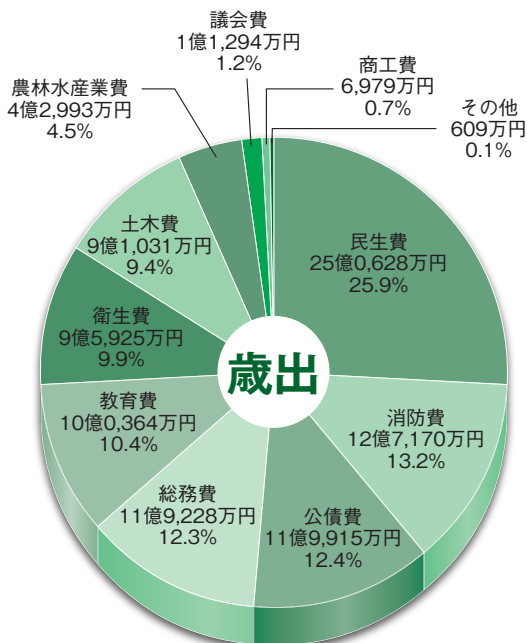
自主財源 21.4%	依存財源 78.6%
---------------	---------------

一般会計 96億6,136万円 前年度比7.9% 7億460万円 増額

【一般会計】



前年度比			
歳入 (単位: 万円、%)			
区分	予算額	増減額	増減率
町税	13億2,149	3,754	2.9
繰入金	4億2,892	3億5,068	448.2
分担金及び負担金	7,854	△40	△0.5
使用料及び手数料	6,709	△18	△0.3
繰越金	3,000	0	0.0
その他	1億4,306	△936	△6.1
小計(自主財源)	20億6,910	3億7,828	22.4
地方交付税	41億2,500	△11,500	△2.7
町債	17億5,650	6億8,730	64.3
国・県支出金	13億3,456	△2億2,648	△14.5
地方消費税交付金	2億5,000	△2,000	△7.4
地方譲与税	1億500	0	0.0
その他交付金	2,120	50	2.4
小計(依存財源)	75億9,226	3億2,632	4.5
合計	96億6,136	7億0,460	7.9



歳出 (単位: 万円、%)			
区分	予算額	増減額	増減率
民生費	25億0,628	1,246	0.5
消防費	12億7,170	8億2,191	182.7
公債費	11億9,915	4,574	4.0
総務費	11億9,228	8,695	7.9
教育費	10億0,364	△5,201	△4.9
衛生費	9億5,925	465	0.5
土木費	9億1,031	△2億2,057	△19.5
農林水産業費	4億2,993	1,228	2.9
議会費	1億1,294	220	2.0
商工費	6,979	△393	△5.3
その他	609	△508	△45.5
合計	96億6,136	7億0,460	7.9

【特別会計】

区 分	予 算 額	前 年 度 比	
		増 減 額	増減率
後期高齢者医療特別会計	4億3,840万円	1,917万円	4.6%
国民健康保険特別会計	26億6,564万円	△7,940万円	△2.9%
介護保険特別会計	22億9,590万円	6,741万円	3.0%
下水道事業特別会計	4億1,899万円	1,660万円	4.1%
農業集落排水処理施設事業特別会計	1億1,478万円	184万円	1.6%
簡易水道事業特別会計	1億255万円	△51,542万円	△33.4%
住宅用地造成事業等特別会計	387万円	△29万円	△7.0%
ケーブルテレビ事業特別会計	3,104万円	463万円	17.5%

【病院事業会計】

区 分	予 算 額	前 年 度 比	
		増 減 額	増減率
収益的収入	27億6,078万円	3,930万円	1.4%
収益的支出	29億7,126万円	3,083万円	1.0%
資本的収入	4億4,854万円	2億4,276万円	118.0%
資本的支出	6億7,325万円	2億4,770万円	58.2%

主な新規事業

総務費		
● 漆植栽検討調査業務委託	26万円	町有林へ漆の植栽を検討
● アクセシビリティ対応業務委託	285万円	障害者差別解消法に基づき町ホームページを改修
● 小渡平公園桜苔撤去作業業務委託	53万円	桜苔を撤去
民生費		
● 社会福祉センターボイラー交換工事	578万円	ボイラーを交換
農林水産業費		
● 林道修繕	76万円	林道糠利沢線修繕
土木費		
● ひばり野公園管理事業	152万円	遊具購入
消防費		
● 防災行政無線管理事業	874万円	防災行政無線電話応答装置更新等
● 災害対策事業	35万円	防災士取得経費
教育費		
● 旧圓子家住宅管理事業	128万円	旧圓子家住宅自動火災報知受信機交換等
● 歴史民俗資料館整備事業	9,666万円	旧豊間内小展示室展示施工等
下水道事業特別会計		
● 下水道事業	946万円	公共下水道事業計画見直し調査等

平成29年度当初予算を審議

予算特別委員会(委員長：三浦専治郎議員、副委員長：川村浩昭議員)を設置し、平成29年度の一般会計予算、特別会計予算及び病院事業会計予算について審議しました。

※委員会では議員のことを「委員」と呼びます。



三浦 専治郎 委員長

主な質疑

一般会計歳入

財源の状況は

問 大沢義之委員

財源と基金の取り崩しの状況は。

答 佐々木総務課長

合併算定替えによる普通交付税の増加分が毎年20%程度減額されていき厳しい状況である。基金を取り崩して対応していくことになる。

実質公債比率は

問 尾形裕之委員

実質公債比率は。

答 佐々木総務課長

平成28年度は10・587%の見込み。平成29年度は11・587%になる見込み。その後消防署建設費の償還が平成32年から始まると更に増える。

学校支援地域本部事業費補助金とは

問 高山浩司委員

学校支援地域本部事業費補助金とは。

答 佐々木教育課長

登下校時の見守りや学校図書の整理などボランティア活動を支援する事業の補助金である。

【総務費】

アクセシビリティ対応業務委託とは

問 高山浩司委員

アクセシビリティ対応業務委託とは。

答 小村企画振興課長

町のホームページが利用できない方も利用できるように改修するもの。

移住PR用動画作成業務委託とは

問 高山浩司委員

移住PR用動画作成業務委託とは。

答 沢向地方創生推進室長

移住を促すことを目的とした五戸町の魅力を盛り込んだ動画の作成とネット配信を委託するもの。

ふるさと納税に関する費用の総額は

問 川崎七洋委員

ふるさと納税に関する費用の総額は。

答 沢向地方創生推進室長

管理運営費約700万円、積立金600万円の計約1300万円である。積立金は今後のまちづくり事業に使われる。

地域おこし協力隊の状況は

問 豊田孝夫委員

地域おこし協力隊の状況は。

答 沢向地方創生推進室長

3名採用する計画であるが、現在1名で、新年度には2名になる予定である。また、地域おこし協力隊が起業する際の支援金も計上している。

税務関係の業務委託の内容は

問 高山浩司委員

①背景図データ作成業務委託②土地単価更新業務委託③ネットワーク強化eLTA X設定委託とは。

答 金子税務課長

①背景図データ作成業務委託は航空写真の修正を行うもの。

②土地単価更新業務委託は土地の評価を見直すもの。

③ネットワーク強化eLTA X設定委託はネットワークで確定申告ができるようにするもの。

eLTA Xとは、地方税ポータルシステムの呼称で地方税における手続きをインターネットを利用して電子的に行うシステム

庁舎工事の内容は

問 鈴木隆也委員

駐車場整備工事と多目的トイレ工事の内容は。

答 佐々木総務課長

駐車場整備工事は税務課協の駐車場の進入路の整備。

多目的トイレ工事はベビースートの設置をするもの。

漆植栽検討調査業務委託とは

問 鈴木隆也委員

問 尾形裕之委員

漆植栽検討調査業務委託とは。また、個人が行う場合の支援は。

答 畑山農林課長

漆を町有地に植栽するにあたり、どこが適地なのかなど調査するもの。

新たな特産物の開発と放棄地の利用の観点からも、個人が行う場合の支援策も考えなければならぬと思っている。

職員研修の内容は

問 鈴木隆也委員

職員研修の内容は。

答 佐々木総務課長

人選は未定であるが青森の自治研修所、仙台の東北研修所、幕張、滋賀県大津市の中央研修所、また(財)全国建設研修センターに参加させる予定。

お試し住宅工事の見通しは

問 鈴木隆也委員

お試し住宅工事の見通しは。

答 沢向地方創生推進室長

空き家の改修1軒を見込んでいます。改修した住宅はその後利用していく。

商品開発業務委託とは

問 尾形裕之委員

商品開発業務委託とは。

答 沢向地方創生推進室長
八戸学院大学と連携し

て商品開発を進めていく予定。今年度の事業を検証する。

【民生費】

老人クラブ活動等補助金とは

問 尾形裕之委員

老人クラブ活動等補助金とは。

答 鈴木福祉保健課長

18老人クラブへ1クラブあたり4万6千560円、連合会へ1クラブあたり1万6千円の計28万8千円を、県の要項に基づき会員数にかかわらず一律に補助している。

【衛生費】

公衆浴場施設整備事業費補助金とは

問 尾形裕之委員

公衆浴場施設整備事業費補助金と周知は。

答 鈴木福祉保健課長

公衆浴場のボイラー整備など1浴場50万円を限

度として補助するもの。周知が足りないためもっと周知したい。

浄化槽設置整備事業費補助金の見直しは

問 鈴木隆也委員

何基分を想定しているのか。また、他市町村と比べて補助額が低いが見直しは。

答 山下建設課長

5人槽10基、7人槽12基、10人槽1基を想定している。補助額の見直しについては平成29年度の計画にあわせて見直す予定である。

特定健康診査手数料とは

問 鈴木隆也委員

何人見込んでいるのか。

答 鈴木福祉保健課長

1千120人を見込んでいる。

水辺の環境美化事業とは

問 川村浩昭委員

水辺の環境美化事業とは。

答 酒井住民課長

主に「五戸川をきれいにする会」がごみ拾いや草刈り等の環境美化作業を行う為の事業。

育成研修会業務委託とは

問 高山浩司委員

育成研修会業務委託とは。

答 鈴木福祉保健課長

地域の健康意識の向上を図るため、保健協力員等40名程度を健康リーダーとして育成するもので、青森県医師会に委託するもの。

【農林水産業費】

倉石牛の生産状況は

問 尾形裕之委員

倉石牛の出荷数は。

答 畑山農林課長

400頭弱。

問 大沢博委員

ブドロク放牧場は最大で何頭受け入れ可能か。

答 畑山農林課長

放牧場は約200頭、キャトルセンターは100頭。

キャトルセンター

とは、生産者より、母牛、子牛を預かり管理育成する施設

りんご緊急需給対策事業費補助金とは

問 豊田孝夫委員

りんご緊急需給対策事業費補助金とは。

答 畑山農林課長

加工向けりんごの価格の安定のために補助する

もの。県の事業である。

りんご病害虫マスター養成事業委託とは

問 高山浩司委員

りんご病害虫マスター養成事業委託とは。

答 畑山農林課長

りんごの病害虫の知識や技術を習得させる県の新しい事業で、1名分を計上している。

【商工費】

ごのへ夏まつりにアイドルグループを

問 尾形裕之委員

ごのへ夏まつりにアイドルグループを呼べないか。

答 小村企画振興課長

今後予算の範囲内で出来るかどうか協議検討する。

【教育費】

川内中学校のスクールバスは

問 鈴木隆也委員

川内中学校にはスクールバスがなくコミュニティバスを利用して運行時間が下校時間に合わないが対応は。

答 小村企画振興課長

対応できるのかどうかバス会社と協議検討する。

五戸代官所の活用は

問 豊田孝夫委員

今後どのように活用していくのか。

答 佐々木教育課長

建物の内部をなにかに使う仕様になっていないため、活用するのであれば限定される。

夢の教室事業業務委託とは

問 尾形裕之委員

夢の教室事業業務委託とは。

答 佐々木教育課長

元プロサッカー選手を講師に迎え教室を開き、子ども達に夢や希望を与えるもの。

江渡狄嶺関係資料搬入委託とは

問 豊田孝夫委員

江渡狄嶺関係資料搬入委託とは。

答 佐々木教育課長

長野県茅野市に保管されている江渡狄嶺関係資料を子孫の方から寄付していただけるということでの搬入費用。

下水道事業特別会計

下水道使用料収入の見込みは妥当か

問 大久保均委員

下水道整備が進んでいるのに使用料収入の見込みが増えない理由は。

答 山下建設課長

整備面積は拡大しているが、使用料収入は厳しく見込んでいる。

農集排特別会計

倉石東部地区の加入率が低い理由は

問 大沢博委員

倉石東部地区の加入率が低い理由は。

答 山下建設課長

高齢者世帯が多く受益者負担金がネックとなっている。加入促進を図りたい。

ケーブルテレビ特別会計

著作権使用料とは

問 川崎七洋委員

著作権使用料とは。

答 小村企画振興課長

ケーブルテレビ放映により発生し、各著作権協会に加入件数等に応じて支払うもの。

病院事業会計

1日平均入院患者数予定量の積算根拠は

問 尾形裕之委員

1日平均入院患者数予定量の積算根拠は。

答 服部病院事務局長

現在の状況を鑑みた数である。

第10回 平成29年2月 臨時会

2月16日に1日間の会期で臨時会が開催されました。

議決件数 2件			
原案可決	同意	承認	認定
2件	0件	0件	0件

町長提案案件

工事請負契約の変更2件

●ひばり野公園陸上競技場管理棟改修工事

・設計内容の一部変更
変更前

6631万2千円

変更後

7018万4千円

内容(追加)

- ・アルミ製建具等
- ・便器改修
- ・トイレ付帯設備等
- ・諸経費等

審議の結果

全員賛成で可決

●旧豊間内小学校改修工事

・設計内容の一部変更
変更前

1億3716万円

変更後

1億4489万2千円

内容(追加)

- ・キュービクルボックス
- ・外壁塗装
- ・キュービクル改修工事
- ・諸経費等

審議の結果

全員賛成で可決



第11回 平成29年3月 臨時会

3月2日に1日間の会期で臨時会が開催されました。

議決件数 3件			
原案可決	同意	承認	認定
1件	1件	1件	0件

町長提案案件

専決処分承認 1件

●損害賠償請求に関する和解及び損害賠償の額の決定

【内容】

- ・町道の舗装劣化により
自家用車のタイヤがパンクしたことによる損害賠償額

1万4千円

審議の結果

全員賛成で承認

人事 1件

●監査委員の選任

◎前田一馬氏
(63歳)



五戸町字蛸川村

主な職歴

五戸総合病院事務局長

任期

平成29年3月2日～

平成33年3月1日

審議の結果

全員賛成で同意

【内容】

- ・八戸市階上町田代小学校
中学校組合解散に伴うもの

●規約の変更 1件

青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更

審議の結果

全員賛成で可決

第12回 平成29年3月 定例会

3月9日から16日までの8日間の会期で定例会が開催されました。

議決件数 26件(うち議会議案 1件)			
原案可決	同意	承認	認定
25件	1件	0件	0件

町長提出案件

協議 1件

●青森県新産業都市建設事業団に委託すべき事業に関する計画の一部変更

審議の結果

全員賛成で可決

協約の締結 1件

●連携中枢都市圏の形成に係る連携協約の締結

審議の結果

全員賛成で可決

協定の廃止 1件

●定住自立圏形成協定の廃止

審議の結果

全員賛成で可決

権利の放棄 1件

●八戸地域広域ふるさと市町村圏基金に対する出資金に係る権利の放棄

審議の結果

全員賛成で可決

事務及び規約の変更1件

●八戸地域広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の変更

審議の結果

全員賛成で可決

受託の廃止 1件

●団体営七崎地区基盤整備促進事業に関する事務の受託の廃止

審議の結果

全員賛成で可決

条例の一部改正 9件

●五戸町議会の議決すべき事件を定める条例の一部改正

・文言の改正

五戸町個人情報保護条例及び五戸町個人情報保護条例の一部改正

●五戸町個人情報保護条例の一部を改正する条例及び五戸町個人情報保護条例の一部改正

【内容】

・法律の改正に伴う改正

五戸町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正

●五戸町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正

・法律の改正に伴う改正

五戸町職員の分限に関する条例の一部を改正

●五戸町職員の分限に関する条例の一部を改正

・人事評価制度導入に伴う降級事由改正

五戸町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正

●五戸町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正

・職員の介護休暇及び育児を行う職員に係る改正

・文言の改正

五戸町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正

●五戸町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正

・法律の改正に伴う改正

五戸町職員の給与に関する条例の一部を改正

●五戸町職員の給与に関する条例の一部を改正

・法律の改正に伴う改正

五戸町ひとり親家庭等医療費給付条例の一部を改正

●五戸町ひとり親家庭等医療費給付条例の一部を改正

・法律の改正に伴う改正

五戸町介護保険法に基づく指定地域密着型サービス等の事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の一部を改正する条例及び五戸町介護保険法に基づく指定地域密着型介護サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部を改正

●五戸町介護保険法に基づく指定地域密着型介護サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部を改正

・法律の改称に伴う改正

後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)

●後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)

・補正額(増額) 119万4千円

・補正額(減額) 4億2302万7千円

・療養給付費定率市町村負担金等

・国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

・補正額(減額) △870万1千円

・補正額(増額) △1億438万7千円

・補正額(減額) △1億438万7千円

・補正額(増額) 95億3841万5千円

・事業確定等によるもの

審議の結果

全員賛成で可決

補正予算 9件

一般会計補正予算(第6号)

・補正額(減額) △1億438万7千円

・補正額(増額) 95億3841万5千円

・事業確定等によるもの

後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)

・補正額(増額) 119万4千円

・補正額(減額) 4億2302万7千円

・療養給付費定率市町村負担金等

・国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

・補正額(減額) △870万1千円

・補正額(増額) △1億438万7千円

・補正額(減額) △1億438万7千円

・補正額(増額) 95億3841万5千円

・事業確定等によるもの

●介護保険特別会計補正予算(第3号)

・補正額(減額)

△857万3千円

・予算総額(補正後)

23億2720万1千円

【主な内容】

・主治医意見書作成料等

●簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)

・補正額(減額)

△172万9千円

・予算総額(補正後)

1億5278万4千円

【主な内容】

・光熱水費等

270万円を減額し2億5457万5千円

審議の結果

全員賛成で可決

平成29年度予算 10件

●一般会計予算

●後期高齢者医療特別会計予算

●国民健康保険特別会計予算

●介護保険特別会計予算

●下水道事業特別会計予算

●農業集落排水処理施設事業特別会計予算

●簡易水道事業特別会計予算

●住宅用地造成事業等特別会計予算

●ケーブルテレビ事業特別会計予算

●病院事業会計予算

●ケーブルテレビ事業特別会計予算

●病院事業会計補正予算(第3号)

●農業集落排水処理施設事業特別会計補正予算(第2号)

●簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

●住宅用地造成事業等特別会計補正予算(第2号)

●ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第2号)

●病院事業会計補正予算(第2号)

●農業集落排水処理施設事業特別会計補正予算(第2号)

●簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

●住宅用地造成事業等特別会計補正予算(第2号)

●ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第2号)

●病院事業会計補正予算(第2号)

●農業集落排水処理施設事業特別会計補正予算(第2号)

●簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

●住宅用地造成事業等特別会計補正予算(第2号)

町長提出案件追加

専決処分承認 1件

●損害賠償請求に関する和解及び損害賠償額の決定

【内容】

・町道の舗装劣化により

自家用車のタイヤがパンクしたことによる損害賠償額

2万1千円

審議の結果

全員賛成で同意

議会提出案件

議案 1件

●町長が専決処分できる軽易な事項の指定について

【内容】

・町長が専決処分できる軽易な事項を指定するもの

審議の結果

全員賛成で可決

★用語解説

【会計】

・一般会計とは

地方公共団体の行政運営の基本的な経費を網羅して計上する会計のこと。

・特別会計とは

特定の事業を行う場合その他特定の歳入を歳出に充て、一般の歳入歳出と区分して経理する必要のある場合に、条例によって設置する会計のこと。

【歳入】

・自主財源とは

町が自主的に収入できる財源。

(例)町税・繰入金・分担金及び負担金など。

・依存財源とは

国や県の基準に基づき交付されたり割り当てられたりする財源。

(例)地方交付税・町債など。

【健全化判断比率】

・健全化判断比率とは

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定に基づき、議会に報告が義務付けられた「実質赤字比率」「実質公債費比率」「連結実質赤字比率」「将来負担比率」の4指標。

【予算】

・当初予算とは

一会計年度を通じて定められる基本的予算。

・補正予算とは

予算の調整後に生じた事由に基づいて、規定の予算に追加その他の変更を加える必要が生じたときは、補正予算を調整し、議会に提出する。

・実質公債比率とは

借入金の返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示した数値。

3月定例会では6人の議員が一般質問を行いました。一般質問は、一般行政、教育、選挙、農地行政など町が行う行財政全般について質問できます。



鈴木 隆也 議員

◆八戸圏域連携中枢都市圏で当町が 目指すところは

町長 連携を強化し人口減少対策
強化を図る

資源を活用した地域経済の裾野拡大を図る。

②ドクターカー運行事業の充実・強化や八戸圏域公共交通計画推進事業に取り組み、高度な医療サービスの提供や広域的な公共交通機関の構築を図る。

③医師派遣事業や高校生実践プロジェクト、移住交流推進事業などを展開し、医療体制・高齢者福祉の充実、人材育成、人口減少対策を図る。

特定の企業及び産業を支援する施策はない。しかし、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成に関する施策がいくつかあるので、制度周知と活用を支援していく。

また、企業からの要望等があれば、町独自に五戸町企業立地推進条例及びものづくり支援事業による、用地確保や農地転用などの支援を考える。

質問

人口流入に対応し、第二の上市川団地を造成し
ては。

答三浦町長

上市川団地区画完売を第一に考えている。しかし、一定の効果が認められることから、次の団地造成を考えなければならぬ時期にさしかかっている。ただ、上市川地区に限定して考えるのではなく、町全体のことを考えて進めたい。

質問

上市川石香線および八戸北インターに直結する八戸市市道から成る道路は、八戸市との連絡に重要な役割を果たしている。連携中枢都市圏で県道整備は可能か。

質問

八戸圏域には豊富な山野がある。新たな産業として連携中枢都市圏でウルシ栽培を進めてはどうか。

答畑山農林課長

連携中枢都市圏での取り組みは今後、働きかける

質問

八戸圏域連携中枢都市圏で次のことについて当町の果たす役割と目指すところは。

①圏域全体の経済成長のけん引は。

②高次の都市機能の集積・強化は。

③圏域全体の生活関連機能サービスの向上は。

答三浦町長

①成長産業立地等支援事業などの事業を展開し、新規創業促進や地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成、地域

質問

八戸に隣接する旧川内地区には航空機部品も供給している橋機工がある。そこを拠点に関連企業を集約した工業団地の構築を連携中枢都市圏で進めてはどうか。

答三浦町長

連携中枢都市圏では、工業団地の開発・造成や

ことも考えられる。しかし、町独自でウルシ産業への取組みを研究する必要性を感じ、平成29年度予算を計上した。

ウルシ(漆)の現状
国宝などの修理・修復に欠かせないウルシは約98%が中国産で、2%程度が国産であり、高品質とされる国産ウルシの安定的な需給体制確立が必要とされている。これにより、国や県にはいくつかの補助事業がある。しかし、産業としてウルシを栽培するには広大な土地が必要なことや、ウルシを採るには植林してから最低15年かかること、また、1シーズン、ウルシを掻き取ると樹勢が弱り廃用せざるを得ない(通称・殺し掻き)など、産業として確立するにはいくつかのリスクも伴う。

一般質問



かわむら ひろあき
川村 浩昭 議員

質問

倉石地域振興公社が譲渡されるようだが地域の方々の話し合いや納得は得られているのか。

答三浦町長

決定したわけではなく今後の方針を示したもので、これから交渉していくことになる。

◆町道に穴が目立つが管理は

町長 道路パトロールを強化する

質問

悪路のための事故により賠償問題が起りり補修しているとのことだが、穴が開いた凹凸道が目立つが、管理状況は。

質問

補修が必要な個所を町ではどの程度把握しているのか。

答山下建設課長

全個所を把握するのは難しいが、雪解けとともに壊れることが多いので今後も道路パトロールを強化するなど、より安全な道路管理に努めていく。

◆(株)倉石地域振興公社の現金盗難

事件における町のけじめは

町長 管理運営の徹底指導

質問

(株)倉石地域振興公社の現金盗難事件から昨年12月で7年経ち時効になったが、その責任やけじめなど、町ではどのように収めるつもりか。

答三浦町長

警察の懸命な捜査にもかかわらず被疑者の検挙に至ることなく時効となったことは誠に残念である。(株)倉石地域振興公社には、このような事件が二度と発生しないよう管理運営の徹底を指導している。

質問

倉石温泉、社会福祉協議会の風呂及び町内で営業している風呂屋の入浴料の均等化はどのようになったのか。

答三浦町長

現在、公的浴場の倉石温泉と社会福祉協議会の風呂では65歳以上の方の入浴料金を150円としているところであるが、民間の浴場経営に影響を与えている可能性も考え

要望

られるため料金の均等化と改定の検討に時間を頂きたい。

現在、旧倉石村地区の65歳以上の方が社会福祉協議会の風呂に行くとき割引はない、逆に旧五戸町地区の65歳以上の方が倉石温泉に行くとき割引はない状況である。同じ町内にある浴場施設で同じ町民の入浴料金が違うのは公平ではない。早急に均等化して頂きたい。

答三浦町長

年に数回は町道の穴埋め施工を業者に委託し、緊急時には職員が簡易的な穴埋めを行う対応をしている。また、過疎地域自立促進計画に舗装修繕路線を追加し工事を実施している。





たかやま こうじ 高山 浩司 議員

◆五戸小学校は6年生まで3学級編制を維持するべきでは

教育長 県に要望している

質問

五戸小学校は、4年生までは3学級編制で行われてきたが、5年生からは2学級編制になる。現場の先生方からは、現在でも厳しい状況なのに10人以上増えると、ますます一人一人の生徒に目を配ることが難しくなると聞いている。

前校長先生や保護者の方からも、3学級編制を維持して欲しいとの要望を聞いている。教育の質を維持するためにも、6年生まで3学級編制を維持すべきだと思うが。

答 高橋教育長

県の「あおもりっ子育みプラン」に従い、特例的に4年生まで3学級編制であったが、5年生からは1学級40人という

◆姉妹都市関係の停止も検討するべきでは

町長 当町からは考えていない

質問

今年、沃川郡と姉妹都市関係を締結して20周年である。現在、中学生友好親善交流は続いているが、当初姉妹都市の協議書に有った事業のほとんどが実行されていない状況にある。また、慰安婦問題で、先の大戦で亡くなられた先輩方や、海外在住の日本人までもおとしめている韓国の態度を考えると、姉妹都市関係の停止も検討すべきではないか。

法律に基づいて、2学級編制となるもの。小中学校校長会、教育長部会としても、県に要望している。

答 三浦町長

国家間関連の外交レベルの問題を、姉妹都市交流に持ち込むべきではないという立場は変わらない。互いに不愉快な思いをする可能性が高く沃川郡から交流の停止という提案があれば検討する。



◆五戸総合病院の赤字を減らすための改革案は

町長 様々な機関と連携し利用者を増やす

質問

地域の安心を守るためには、総合病院の存在は欠かせないと思うが、総合病院の運営のために、毎年約10億円もの大金が一般会計から繰り出されておられ、財政を圧迫している。総合病院の現状について、どの様に考えているか。また、赤字を減らすための改革案を持っているのか。

答 安藤病院長

様々なデータから病院の経営状況を把握し、医師および看護師全員に周知させ、意識改革を行っている。「病院だより」という広報を作り、近隣の病院および医師会に配って、総合病院をアピールしている。五戸町に骨を埋める覚悟で改善に努めていく。

答 三浦町長

平成28年度は、患者の数が増加し、赤字が9億円以下になる予定である。地域医療研修医を継続して受け入れし、入院患者を増やしたい。町内の介護施設等と連携しながら、施設からの患者の



一般質問



おがた ひろゆき
尾形 裕之 議員

◆所得制限なしの医療費無料化は

町長 望ましいが現段階では難しい

質問

全国の半数以上、県内では40市町村中25市町村が所得制限なしで乳幼児の医療費を無料にしている。また、県内19市町村で中学生まで所得制限なしで無料にしている。当町も考えるべきでは。

答三浦町長

大変望ましいと考えているが、財源なくしては安定的に続けることができないため現段階では難しいと考えている。

要望

中学生まで所得制限なしの医療費無料化に必要な予算は年1千502万

円と聞いている。五戸総合病院が以前より経営がよく繰入金金が1億円少なくて済むようなので、来

年度も経営がいいようであればぜひ予算化して実現して頂きたい。

◆ご当地カードと人口減少問題との関係は

町長 人口減少の歯止めになることを期待したい

質問

まち・ひと・しごと総合戦略でご当地カードを進めているが、いつ実施予定か。また、人口減少問題との関係は。

要望

すでにうまっこカードや地域商品券があるわけで、ご当地カードでの活性化が人口減少の歯止めとなるのか疑問であるが、具体的に説明ができるように調査研究して頂きたい。

答三浦町長

地域活性化を目的に平成31年度実施予定である。

人口減少問題には直接的に関係しないが、地域を活性化することによって間接的ではあるが人口減少の歯止めになるのではと考えている。

◆五戸高校の存続活動は

町長 県と意見交換を行っている

質問

五戸高校の存続に向けてどのような活動を行っているのか。また、姉妹都市の高校生の留学受入れなど、特色ある高校にできないか。

答三浦町長

5月から三戸郡町村長会長にもなるので、必要であれば町並びに三戸郡からの陳情も考えたい。

要望

高校側は留学生受入れには前向きと聞いている。姉妹都市一行が来町したときにでも、留学についての話し合いも考えて頂きたい。

答三浦町長

県とは平成27年28年と3回以上の意見交換を行ってきた。留学の件については県及び高校と協議していく。

質問

県教育委員会の学校配置計画案が策定される前に五戸高校存続の陳情に行くべきでは。

※このほかに「アパートのごみかご設置について」「樹木葬について」「入浴料無料券について」の質問を行いました。





豊田 孝夫 議員

◆倉石牛の振興と畜産農家に対する支援策は

町長 基金を利用した肉用牛の貸付事業を行っている

質問

肥育、繁殖牛の畜産農家に対する支援制度はどのようなものがあるか。また、それら制度の金利、償還期限等は。

答三浦町長

一頭60万円を限度に繁殖雌牛を貸し付ける「高齢者等肉用牛導入事業」と一貫経営に取り組む農家に一頭30万円を限度に貸し付ける「肉用牛一貫経営事業」を行っており、いずれも無利子である。牛の増加を目的とした

仔牛の購入や肥育に要する経費などに対する補助金制度を考えていきたい。

質問

新規就農者として畜産農家を目指す方に対し、町独自に資金援助を考えてみてはいかがか。

答三浦町長

他の新規就農者と同様、来年度から事業拡大して行う町の青年就農ステップアップ支援事業で対応する。

質問

倉石牛肉まっぴりの認知度はどれぐらいなのか、また、このイベントで消費される牛肉の量はどれぐらいか。

答三浦町長

青森市、津軽方面で前売り券が100枚以上売

れているので県内には知れ渡っている。また、消費される牛肉の量は3頭半分である。

質問

今年には五年に一回の全国和牛能力共進会が仙台で開かれる。そのため視察研修等に行きたいという畜産農家もあるかと思うが、それら経費の一部補助を考えては。

答三浦町長

視察研修の補助については田子高原広域事務組合に係る市町村に旅費を補助する事業があるので、町としてはそちらを活用していただきたい。五戸町は一人二万五千円計六人分の予算が割り当てられている。

◆グローバルGAP認証の推進は

町長 制度説明実施を考えたい

質問

県内でグローバルGAP認証を取得している件数と費用はどれぐらいか。また、研修会を開催する予定はないか。

答三浦町長

県内では9件、農家が3戸、企業が2社、法人が4組織。なお、全国で

質問

グローバルGAP認証に青森県や東北農政局はどのような動きをしているのか。また、JAとの連携はどうあるべきか。

答三浦町長

県では普及拡大のため、営農集団や農協、農業法人を対象に、コンサルタントに関する費用に対しての補助金の制度を設けている。

八戸農協においても、長いも等の輸出を行っている状況なので考え方と取り組みを確認するとともに、研修会の開催など連携していきたい。

グローバルGAP 農業生産における様々な面での持続性に向けた取り組みであり、その結果として安全で品質のよい農産物をもたらすヨーロッパ発の世界認証のこと。

一般質問

質問 山田桂一郎先生の講演で「自治体の創生総合戦略の事業計画は、計画を立てることが目的になっていて実態が伴っていないことが多い」として「見直しすることができ」と聞いたが、当町の計画の見直し状況は。

答三浦町長 施策3のまちの駅整備促進事業は当初平成28年度中に基本構想及び基本計画を終了する予定だったが、検討及び意見交換等、十分に議論し進める必要があるため遅れている。平成32年度開業を目標とする。

◆五戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略の事業見直し状況は 町長 責任をもって進める



かわさき しちひろ
川崎 七洋 議員

質問

予定外に時間がかかったから1年延ばすという、今後も先延ばしにしていることになるのではないか。

原点に戻って計画を見直すという事はしないのか。

答沢向地方創生推進室長

今年度の住民協議会や商工会関係者との意見交換の状況からすると、平成29年度は計画通り進めていきたい。

質問

今後、町の方針と住民の意見が平行線を辿ってしまうことも考えられるが、その場合どのように対処するつもりか。

答三浦町長

町長の責任で判断する。

質問

施策21の住民協議会の設置は非常に重要だと考えるが遅れている。どのように進めていく予定か。

答三浦町長

地域の有識者および住民で構成される五戸町地方創生まちづくり推進協議会は設置しており、今年度は先進地視察研修を計画したが度重なる台風の影響により断念した。平成29年度早々に先進地視察研修を行い、できるだけ早い時期に住民協議会制度を施行したい。

要望

住民協議会も公募になると考えている。今の時点で公募して、住民協議会に入る予定の人と一緒に視察に行くということ計画して頂きたい。

◆五戸ちゃんねる

放送内容の見直しは

町長 投稿映像も放映したい

質問

放送内容が過去の出来事だけで、これから行われるイベントの告知など情報発信に使われていないと感じる。町民の協力を募って町のニュースを発信するような独自の放送を行う計画はないのか。

質問

機器設備の現状を考えると五戸ちゃんねる事業の継続性に不安を感じるが今後の計画は。

答三浦町長

平成29年度は機器設備修繕関連予算として280万円を計上している。

答三浦町長

昨年の自治会長会議でも要望をいただいている。新年度では一般の方からスポーツ少年団の大会の映像や、保育所のお遊戯会の映像などを投稿していただき放映したいと考えている。

企画・政策、技術、美術などの専門スタッフが作成するような番組制作は困難であり、現在の放送設備などの状況からして独自放送は難しいと考えている。また、全面委託となると放送設備の更新に4600万円ほどの予算が必要になるほか、放送スタジオの設置など多くの課題があるため今後の検討課題としたい。

浄化槽トップ セミナーin青森



平成29年2月15日、青森市にて環境省主催による浄化槽トップセミナーin青森が開催され、五戸町議会議員12人が参加しました。

講演

「これからの社会と浄化槽」
環境省浄化槽推進室長

吉川 圭子 氏

「汚水処理事業への公営企業会計適用」

総務省准公営企業室係長

西川 謙太 氏

「浄化槽による生活排水処理計画と地方創生」

日本環境整備教育センター理事

国安 克彦 氏

五戸町連合婦人会との懇談会

平成29年2月19日、町立公民館にて五戸町連合婦人会との懇談会が開催され、五戸町議会議員13人が参加しました。

議員は5グループに分かれて、女性の視点からの提案や要望に耳を傾けながら、意見を交換しました。共により良いまちづくりを目指した有意義な懇談会になりました。



編集後記

ウグイスのさえずりが耳に届く春の季節となってきました。

連日のように報道各社は、人口減少・少子高齢化問題等を報道しております。

町もその対策のための事業経費を平成29年度予算に計上し、町・議会一体となり人口対策を含め、町の活性化対策等について取り組んでおります。

また、連携中枢都市宣言を行った八戸市と魅力あふれる圏域を形成することを目的に、連携する施策や役割分担等を定めた協約を締結しました。

今後は八戸市一極集中とならないよう、近隣町村とスクラムを組み、八戸市に対し、提言をしてまいりますので、ご意見等ありましたら、議会事務局までご一報ください。

委員 大久保 均

広報常任委員会

委員長	高山 浩司
副委員長	豊田 孝夫
委員	川崎 七洋
委員	鈴木 隆也
委員	大久保 均
委員	若宮 佳一
委員	三浦 俊哉
発行責任者	長和田 寛司

次回の広報は、平成29年8月発行予定です。

議会を傍聴してみませんか

6月定例会は6月8日開催予定です。

詳しくは議会事務局まで

TEL 62-2111 (代表)

日程が決まりしだい「五戸ちゃんねる」五戸町ホームページでもお知らせします。